

台湾、オーストリア及びニュージーランドである。

米国以外の各国は、オフィス機器についてエネルギースターに参加している。ただし、カナダは、米国と同様の品目機種を導入しており、オーストラリアはオフィス機器の他に消費者電子機器を導入している。

(b) EU における運用状況

EU は 2001 年にエネルギースターに参加し、オフィス機器を導入しているが、その目的は、省エネルギー・CO₂排出量削減及びオフィス機器の国際的貿易促進である。

エネルギースターの導入に当たっては、欧州各国の代表で構成される欧州共同体エネルギースター委員会 (European Community Energy Star Board : ECESB) で次のことが検討され、他の任意ラベルとエネルギースターを共存させていくことが決定された。

- ・ EU のエネルギー政策や EU の指令によるエネルギー消費効率ラベルの設定目的と整合している。
- ・ 現在欧州で実施されている他の任意ラベリング制度 (オフィス機器を対象) との間で混乱を生じさせない。

1.3 報告書の構成

本報告書の構成は次の通りである。

2 章：制度概要・背景

3 章：基準値

4 章：試験方法

5 章：ホーム・ビルディングプログラム

6 章：その他プログラム

7 章：登録状況

8 章：登録事業者と制度との関係

9 章：エネルギースター関係制度

10 章：エネルギースター適合製品に関する今後の動向

11 章：米国以外の海外諸国におけるエネルギースターの運用状況